

加 佐

学校教育目標

『仲間とともに 夢と希望をはぐくみ 学びあい 認めあい 鍛えあう生徒の育成』

学校だより 夏休み号

平成 29 年 7 月 19 日

舞鶴市立加佐中学校

TEL 83-0004 FAX 83-3201

E-mail kasa-jhs@kyoto-be.ne.jp



『走れよメロス』～メロスは早歩き？



保護者及び地域の皆様には 1 学期の間、生徒達のために何かとお力添えを賜り、感謝申し上げます。夏休みの間、家庭と地域で生徒は生活します。生徒達の健全育成に向け、引き続き温かい目で、生徒たちを包み込んでいただきますよう、よろしくお願い致します。

本校が目指す生徒像

知；真面目に考え判断力のある子
徳；思いやりを持って助け合う子
体；健康でたくましく行動する子

2013年に中学2年の生徒が、理数教育研究所の自由研究のコンクールに入賞しました。内容は【メロスの全力を検証】と題し、小説『走れメロス』の文から距離と時刻を拾い上げ、メロスの移動速度を計算したのです。距離は、片道10里（約39.3km）と本文にあります。そこで各場面での時刻を推定し、メロスが走る平均速度を計算しています。その中で復路で倒れこんだ後に目を覚まし、刑場まで死力を振り絞って走ったラストスパートの場面での平均速度は何と時速5.3kmと算出されたのです。ちなみに、この速さでフルマラソンを走ったら約8時間かかります。もちろん、道路事情は今と違いますし、色んな足止め要素もあったので、決してメロスは、いい加減ではなかったと信じます。ただ、友情のために死も恐れず激走したイメージのメロスでしたが、実際長距離走は苦手だったみたいです。そして、最後に『走れメロス』より『走れよメロス』の方が良いのではとまとめています。「やるな！中学生！！」と感じる自由研究でした。草葉の陰で太宰治はどう思っているのでしょうか？

生徒にとって夏休みは、あっという間に過ぎてしまうものですが、普段より少しは自由な時間もあります。自由研究の宿題は、学校からは出しませんが、じっくりと腰を据えて何かを調べたり、考えたりする時間を持って欲しいです。

自然災害から身を守る難しさ

九州で大きな水害が、起きてしまいました。お亡くなりになった方のご冥福をお祈りすると共に一日も早い復興を願います。温暖化の影響なのか分かりませんが、最近の雨の降り方は尋常ではありませんし、被害も頻繁に起きています。人間が自然に対して優しくない生活をしているのが原因なら直さなくてはなりません。水害だけでなく、地震も頻繁に発生し、日本列島の中で自然災害が起きない、安全な場所なんてありません。自然災害はいきなり想定外の規模で起き、身を守ると言っても本当に困難です。今以上に防災の意識を高めつつ、将来的に雨雲をコントロールして、水害を防ぐ等、自然災害のダメージを少しでも減らす科学技術の確立が望まれます。



校長 山口 茂
教職員一同